

令和元年度実績報告

事業名	効果	主な実績内容等
会費の募集 会員の募集・会費納入の推進	会費を納入頂いたことで、白子町住民に直接的・間接的に社会福祉事業を支えてもらっている。 (1世帯500円)	募集期間 10月1日から2ヶ月間 会員総数 2,521件 会費総数 1,264,500円
<地域福祉事業>		
事業名	効果	主な実績内容等
ボランティアセンター運営事業 補助金・会費収入 557,860円 支出総額 557,860円	ボランティアの相談・登録・斡旋、各種ボランティア入門講座・体験講座などを実施し、新たなボランティアの発掘と育成を図った。	地域福祉推進事業 ・ボランティア活動の促進 新規ボランティア登録者数 2名 (個人ボラ有償含む) 相談・斡旋 3件 ・福祉教育の推進 中学校60,000円 小学校(3校) 各40,000円 (計180,000円) (1) ボランティア保険の加入 518名 (2) 夏季ボランティア体験講座 (全4講座 7日間) 期 日 7月31日 災害時炊き出し&応急救護訓練 13名参加 8月2・5・6・19日 学童クラブお手伝い なのはなキッズ 4名参加 (8月2日) げんきっ子クラブ 5名参加 (8月6・19日) かめっこクラブ 7名参加 (8月5日) 8月16日 ゆうあい訪問 6名参加 8月20日 認知症サポーター養成 5名参加 (3) 赤い羽根共同募金街頭ボランティア活動 期 日：11月3日 (ふるさとしらこ祭) 場 所：白子町役場 内 容：ふるさとしらこ祭での街頭募金活動 参加者：小中学生の希望者と地区社協役員21名参加

事業名	効果	主な実績内容等
		<p>(4) レクリエーション講習会 期 日：1月18日 場 所：関ふれあいセンター 参加者：31名 講 師：国際武道大学教授 中島一郎 氏 目 的：住民自身が介護予防レクリエーションについて学び様々な交流の場で実践できるようにするため 内 容：①コミュニケーションワーク ②介護予防と運動</p> <p>(5) 第39回千葉県ボランティアの集い 期 日：令和2年1月26日～27日 場 所：勝浦スパホテル三日月 参加者：4名（ボランティア活動者3名+事務局1名） 内 容：①記念講演 ②分科会 ③自主交流会</p>
<p>地区社会福祉協議会事業 補助金・会費収入 1,044,000円 共同募金収入 420,000円 支出総額 1,464,000円</p> <p>※関地区・白潟地区・南白亀地区に それぞれ 488,000円</p>	<p>各関係機関と連携して、小域福祉圏を核としてボランティア活動を中心にサロンの普及を図るとともに、広報啓発を行い住民の参加意欲を高めた。 また、福祉教育は、地域のさまざまな立場の人や問題と関わり、学び合うことで子供も、大人も当事者も、地域、福祉を知り、福祉のまちづくりのネットワークを形成する機会となった。</p>	<p>小域福祉圏（関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会） ・夢サロン・関フレンドサロン・サロン全体会 ・介護予防教室・見守り活動・広報発行（年2回） ・スマイルクラブと保育所の交流会 ・はがき慰問（年賀状送付） 関59名・南白亀132名・白潟143名 ・アルミ・プルトップの回収 【令和元年度実績 25,814円 福祉教育関係 【団体：関・南白亀・白潟地区社会福祉協議会】 【学校：関小学校・南白亀小学校・白潟小学校・白子中学校・茂原高校】</p> <p>（福祉教育事業内容） ・関フレンドサロンと関小学校との交流会 ・関フレンドサロンと関保育所の交流会 ・南白亀小学校の運動会に招待しよう ・関いきいきサロン全体会で茂原高校との交流会 ・白潟いきいきサロン全体会で白潟小学校金管部との交流会 ・スマイルクラブと3保育所と小学校の交流会 ・白潟保育所竜神祭り支援 ・はがき慰問（年賀状送付） ・小中学生と赤い羽根街頭募金活動</p>

事業名	効果	主な実績内容等
		(福祉教育会議関係) ・福祉教育推進連絡会会議 1回開催 ・福祉教育プログラム企画部会 1回開催 ・各地区役員会、総会の開催
・介護予防の取組み	各地区社会福祉協議会主催により、「友達作り・安否確認・介護予防」を目的にサロンを実施し、健康に不安がある、各種相談をうけたい、心配がある参加者の情報を受け解決やサービスに繋げている。	・関地区社会福祉協議会サロン (1) 開催数20回 (2) 延べ参加人数 スタッフ含め605名 ・南白亀地区社会福祉協議会サロン (1) 開催数10回 (2) 延べ参加人数 スタッフ含め241名 ・白潟地区社会福祉協議会サロン (1) 開催数10回 (2) 延べ参加人数 スタッフ含め226名

＜共同募金配分金事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
共同募金活動等の推進	地域福祉活動に不可欠な民間活動の財源確保と共に、広報啓発活動及び地域福祉の積極的な取り組み支援を図った。	(1) 赤い羽根募金 (10月1日から3ヶ月間) 目標額 2,220,000円 実績額 2,334,874円 (達成率 105.2%) 件数 2,627件 (自治会2,498件 その他129件)
<赤い羽根募金配分金> 配分金収入 2,063,986円 参加費収入 15,100円 支出総額 2,079,086円	主な配分事業：敬老祝賀会・スマイルクラブ助成・ 調査費・幼児サークル助成・地区社協助成・ 広報費等	<助成事業> ①地区社会福祉協議会助成 (3地区) 420,000円 ②社協広報 234,300円 ③敬老祝賀会 492,000円 ④防災用備品代 494,262円 ⑤スマイルクラブ助成 100,000円 ⑥福祉器具貸し出し 6,000円 ⑦民生委員調査費 137,700円 子育て支援 ⑧ほっぺの会助成 (幼児サークル) 20,000円 ⑨子育てサロン助成 174,824円 子育てサロン開催数12回 延べ参加人数 339人 (親子153組) 合計額 2,079,086円
歳末たすけあい募金 募金総額 541,451円 支出総額 541,451円	町内各種団体の年末行事への支援や地域福祉活動の強化を図った。	(1) 歳末たすけあい募金 (10月1日から3ヶ月間) 目標額 550,000円 実績額 541,451円 (達成率98.4%) 件数 (自治会：2,500件 その他：11件) ①消耗備品購入 1,106円 ②各種団体支援 障がい者福祉会ふれあい交流会支援 30,000円 レインボークラブ支援 30,000円 ほっぺの会 (幼児サークル) 支援 20,000円 ③ボランティア連絡協議会 ゆうあい訪問慰問品配布 支給額 30,000円 ④社協広報 1月号発行 90,645円 ⑤地域福祉活動助成金 69,700円 (関北地区・福島地区・驚東地区・荊金東地区・古所南川岸地区 古所中川岸地区・古所北川岸地区・五井西地区・浜宿東地区・五井東地 区・浜宿西地区) ⑥剰余金 270,000円 合計額 541,451円

＜相談事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
心配ごと相談事業 補助金・会費収入 66,400円 支出総額 66,400円	住民の日常生活の様々な相談に対し、民生委員児童委員、行政相談委員の協力を得て、相談者に助言したり、適切な機関へ紹介する等問題解決の手助けを行った。また、第2水曜日は人権擁護委員も加わった合同相談を実施し、幅広く問題解決に結び付けた。	相談取扱件数 22件 主な相談内容 財産12件、住宅2件、苦情2件、事故2件、家族・精神衛生・職業・その他各1件 弁護士相談 3件
結婚相談事業 補助金・会費収入 23,142円 支出総額 23,142円	相談所の開設し、現在の登録者や結婚について不安をもっている方の相談を行った。	(1) 相談所開設 相談者合計 3名
＜在宅福祉事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
給食サービス事業 補助金・会費収入 544,127円 支出総額 544,127円	75歳以上の一人暮らし高齢者に月2回食事を提供し、安否確認を図った。	毎月第2・4金曜日配食(年16回) 延配食数 753食 登録者数 53名
紙おむつ給付事業 補助金・会費収入 1,180,545円 支出総額 1,180,545円	在宅の高齢者等で、介護保険制度の要介護4・5の認定を受けた、常時失禁している方に年4回(4・7・10・1月)紙おむつを支給し、在宅介護及び経済的負担の軽減を図った。	支給月 4月・7月・10月・1月(年4回) 実人員 60名 延べ人員 166名
外出支援サービス事業 補助金・会費収入 2,745,399円 事業収入 362,800円 支出総額 3,108,199円	単独で公共交通機関が利用できない、概ね65歳以上の高齢者のみの世帯に対し、リフト付きのワゴン車により「居宅から近隣市町村の医療機関、公共機関等」の外出支援を行った。	派遣件数 191件 利用者延べ人数 1202名 登録者数 31名

＜貸付事業＞		
事業名	効果	主な実績内容等
貸付事業 前年度繰越金 1,165,829円 R1 貸付額 96,000円 R1 返済額 127,000円 繰越金 1,196,829円	低所得者世帯へ援護資金を貸し付け、生活援護を図った。	生活援護資金(町)貸付 内 訳 貸付件数： 4件 貸付総額：96,000円 貸付内容：生活保護支給までの生活費 相談延べ件数 15件
県貸付事業(事務費) 県受託金収入 66,900円 支出総額 66,900円		生活福祉資金(県) 貸付件数： 1件 貸付種類：教育福祉資金 貸付総額： 240,000円 相談延べ件数 13件
＜日常の生活支援＞		
日常生活自立支援事業 県受託金収入 325,000円 利用料収入 4,900円 支出総額 329,900円	高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不自由な者に対して、福祉サービスの利用に関する援助等を行うことにより、自立した生活が送れるように支援する。	・福祉サービス利用援助事業 ・財産管理サービス ・財産保全サービス ・新規契約4件、解約2件 ・R2.3.31現在利用者6名
＜心身障がい児(者)福祉の推進＞		
介護用品の貸出	リフト付きのワゴン車や車いすを無料で貸し出し、障がいのある方や高齢者の社会参加のための支援を図った。	車椅子 57件 福祉カー 25件
＜児童・母子福祉の推進＞		
交通遺児援護事業 (県社協)	義務教育中の交通遺児家庭に対して、図書券や激励金又は奨励金を支給し、経済的援助を図る。	町内の保育所・小中学校の調査を行った。
＜団体各種支援＞		
団体活動助成事業 受託金収入 981,000円 支出総額 981,000円	福祉団体を助成し、活動を支援した。	(1) 民生委員・児童委員協議会 150,000円 (2) 母子寡婦福祉会 71,000円 (3) 保護司会 85,000円 (4) 遺族会 184,000円 (5) 障がい者福祉会 437,000円 (6) 更生保護女性会 54,000円

事業名	効果	主な実績内容等
地域包括支援センター事業		<p>(3) 認知症をかかえる家族会 開催数 5回 内 訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常開催5回 ※1回は中止 ※隔月で自主活動(食事会) ※家族交流会サポーター訪問件数3件 ・延べ参加人数40名 ・内容: 病気とストレス・めまい セルフメンテナンス(ストレッチ) 災害時の身の安全確保と対処法 認知症とは 栄養と運動 <p style="text-align: right;"> 医学博士 理学療法士 防災士 元認知症ケア専門士 管理栄養士 </p>
		<p>3. 権利擁護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 日常生活自立支援 4件 (2) 成年後見制度の活用及び支援 4件 (3) 高齢者の詐欺防止の対応 民生委員及び介護支援専門員に情報提供を行った。 <千葉県警・消費者センターからの注意喚起事項>
		<p>4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ケアマネージャーとの意見交換(困難事例の支援含む) 実施: 年 1回 期 日: 8月29日 20事業所 24名参加 (2) 事例検討会 期 日: 2月19日 4事業所9名参加
		<p>5. 地域包括支援ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 協議体への出席1回 期 日: 1月8日
		<p>6. 地域ケア会議</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 模擬会議打合せ会議 期 日: 8月19日・10月4日・1月30日 (2) 模擬会議 期 日: 1月30日 参加者: 介護保険係・地域包括支援センター・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・主任介護支援専門員・助言者 事例数: 2事例
		<p>7. 介護係と包括打合せ会議 期 日: 7月10日・24日・12月18日・3月18日</p>

事業名	効果	主な実績内容等
		8. 認知症サポーター養成講座 期 日：8月20日 場 所：白子町公民館 参加数：5名 9. 介護保険運営協議会 期 日：8月22日・2月19日
在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしの人生を最後まで続けることができるように、医療機関と介護事業所の関係者の連携を図った。	1. 医療機関や介護機関の資源の把握及び在宅医療の情報を広報紙にて周知 2. 医療・介護連携研修会にて課題を抽出 3. 医療在宅介護の提供体制を病院のケースワーカーや介護支援専門員と連携し適切な医療在宅介護に繋いだ 4. 在宅医療介護連携に関する相談を総合相談支援で実施した 5. 医療・介護連携研修会 場 所：白子町関ふれあいセンター 期 日：12月13日 参加数：53名 内 容：①終末期やリビングウィルについて理解する 講師：公立長生病院 副院長 阿部恭久氏 ②グループワーク 6. 長生管内地域包括支援センター定例会において関係周辺市町村と連携を図る 5回
<介護保険 総合事業 一般介護予防事業>		
事業名	効果	主な実績内容等
いきいき健口教室事業 受託金収入 96,820円 支出総額 96,820円	口腔機能訓練をすることで、口周りの筋力が強化され活舌も良くなり、唾液が出るようになり呑み込みが良くなると共に食物が美味しく食べられるようになった。教室参加後、日常生活の見直しをすると共に、口腔の大切さを実感し周知する活動がみられた。(口腔 栄養)	開催数：8回(口腔・栄養指導)10月～12月 参加数：延べ137名 実参加者数20名 内 容：教室の参加者に個別のモニタリングと評価
ふれあい幸民館事業 受託金収入 4,812,290円 支出総額 4,812,290円	総合的な介護予防を積極的に取り組むことにより、日々の生活の中で自ら体を動かし行動するようになり、積極的に健康管理に気をつけるようになった。同時に、要介護状態に移行しないよう歯止めとなっている。	開催数：124回 参加数：延べ1,157名 実参加者数33名 内 容：教室の参加者に個別のモニタリングと評価
介護予防の普及啓発	介護予防に関する基本的な知識を普及啓発するため、健康の話、健康相談を行うことにより、健康に関心を持ち意識を高め、日常生活において気を付けるようになった。(サロン、ミックストレーニン	開催数：18回 参加数：延べ206名

事業名	効果	主な実績内容等
脳の若返り教室 補助金収入 1,043,220円 支出総額 1,043,220円	読み・書き・計算・数字版をサポートと一緒にすることにより、95%の高齢者が脳機能を維持向上出来ており、一般高齢者の認知症予防ができる。 また、脳の若返り教室に参加した事をきっかけに受講期間終了後も仲間との交流機会が増加し外出意欲の向上・認知機能の低下防止につながっている。	開催数：40回 参加数：延べ642名 実参加者数17名
介護支援サポーター事業 受託金収入 17,000円 支出総額 17,000円	高齢者が介護支援サポーター活動を通して積極的に社会参加し、地域貢献することを奨励するとともに、高齢者自らの自発的な介護予防を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・R元年度登録者1名（新規）合計登録者8名 ・サポーター活動延べ時間229時間 ・ポイント換金者5名 （千円：2名・2千円：1名・3千円：1名・5千円：1名）
介護度重度化防止推進事業（健康倶楽部）	外出する機会の少ない高齢者に対して、介護予防を目的としたレクリエーションや健康体操等を歩いて通える場所（自治区の青年館・公民館等）で行うことで参加しづらかった高齢者に対して介護度重度化防止を推進する。	開催数：計94回 開催地区：牛込東・浜宿東・幸治東（2回）・福島（2ヶ所） 浜宿下村南・南日当・北高根宮ノ台・古所西 ※白子町リズムダンスの普及啓発に協力した。 各会場（青年館）において、ダンスを指導している。 介護度重度化防止推進員・介護予防出張教室協力員研修会 期日：10月29日 参加者数・・・22名 場所：白潟ふれあいセンター 参加数：延べ623名 実参加者数・・・85名
<介護保険 包括的支援事業(社会保障充実分)>		
生活支援体制整備事業 受託金収入 1,961,000円 支出総額 1,961,000円	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していく事を目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行う。	(1) 協議体 ・令和2年1月8日第1回協議体会議開催 会場：白子町公民館 内 容：①白子町で求められている生活支援ニーズの把握方法の協議 ②事業推進を行う上での基本プロセスの設定 ③新規生活支援サービス創出の為の工程表作成 (2) 生活支援コーディネーター ・他市町村の事業実施状況等の情報収集及び協議体会議等へ出席
認知症初期集中支援チーム 受託金収入 10,870円 支出総額 10,870円	サポート医・保健師・介護福祉士・社会福祉士がチーム員となり、認知症の人やその家族に訪問支援等で認知症かどうか診断の支援をしたり、適切な医療サービス・介護サービスを紹介したりするために集中的に支援した。（概ね6ヶ月）	(1) 相談件数 28件 つなぎ先：医療9件・介護7件・ケアマネ7件・その他13件 (2) 認知症初期集中支援チーム該当者 3名 チーム員会議数 9回 (3) 白子町認知症初期集中支援チームサポート医への報告・・・11回 期日：4月16日・5月27日・6月18日・7月23日 8月20日・9月26日・10月29日・11月26日 12月24日・1月28日・2月17日 場所：安藤医院 参加者：認知症サポート医安藤医師・白子町地域包括支援センター職員 (4) 長生郡5町村認知症初期集中支援チーム検討委員会 期日：10月31日 場所：長生村役場

事業名	効果	主な実績内容等
認知症初期集中支援チーム		<p>参加者：白子町・長生村・睦沢町・長南町・長柄町担当者・担当課長・検討委員</p> <p>(5) 茂原市長生郡認知症初期集中支援チーム検討会 期 日：12月16日 場 所：長生郡市保健センター 参加者：医師会・茂原市・白子町・長生村・一宮町・睦沢町・長南町・長柄町担当者及び認知症初期集中支援チームサポート医</p> <p>(6) 茂原市長生郡認知症初期集中支援チーム事業担当者会議 期 日：1月31日 場 所：長生郡市保健センター 参加者：医師会・茂原市・白子町・長生村・一宮町・睦沢町・長南町・長柄町担当者及び認知症初期集中支援チームサポート医</p>